

第74回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年6月1日(火) 10:10～10:55	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、大澤子ども家庭部長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、内野職員課長、畑野人事政策等担当課長、宮奈地域安全課長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当副参事、穂山地域安全係長、健康係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医師会からのメッセージについて</li> <li>2 緊急事態宣言の延長について</li> <li>3 ワクチン接種について</li> <li>4 各部連絡事項</li> </ol>			
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナワクチン ～少しでも早く、できるだけ多くの人に～</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等</li> <li>・緊急事態宣言の再延長による市施設の対応について</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン接種の現状</li> <li>・新型コロナワクチン接種に伴う職務に専念する義務の免除の適用について(通知)(案)</li> <li>・3度目の緊急事態宣言の再延長及びワクチン接種等について(案)</li> <li>・第73回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録</li> </ul>			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言は、6月20日(日)まで延長されることとなった。延長にともない、理事者で協議したものもあるが、引き続き、市民に対する情報発信を行っていきたい。</li> <li>・都内感染者数は、若干減少傾向にあるものの、依然として変異株が高い数値を見せている。6月20日の緊急事態宣言終了まで、引き続き都の対応方針を参考にしながら対策に努めていく。</li> <li>・市長メッセージのたたき台を考案した。6月2日(水)に発信予定である。併せて小金井市医師会からのメッセージ第7弾も発信する。</li> <li>・明日(6月2日)の記者会見ではコロナワクチンを中心に説明する。</li> <li>・6月議会の本会議において、コロナワクチンに係る補正予算は2億9千万にのぼる。6月15日の厚生文教委員会においては、コロナ対策全般について、緊急対応方針第6弾について協議していく。</li> <li>・本市におけるワクチン接種については市内46医療機関において、個別接種を行っていると同時に、訪問看護連絡会にもご協力をいただいている。今後始まる一般フェーズのワクチン接種についても、様々な角度から全力で取り組んでいく。</li> </ul>				

- ・ また、地域安全課が夜、公園など市内をパトロールしているが、飲食をしている方もいる。引き続き感染予防対策とワクチン接種を同時に進めていく。

### 1 医師会からのメッセージについて

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

第7弾を、明日6月2日(水)に発信する予定。

### 2 緊急事態宣言の延長について

(生涯学習部長)

- ・ 緊急事態宣言の延長に伴い東京都の措置内容について一部変更があったため、理事者と協議の上、市の施設についても制限を一部緩和した。主なものは総合体育館・栗山公園健康運動センターなどの屋内スポーツ施設及び文化財センターの制限付き再開。市議会への情報提供及び市HP、Twitter等で周知を行っている。学校関連施設等(一中テニスコート等)については、学校施設の方針により、引き続き緊急事態宣言解除までの間、中止とする。

(学校教育部長)

- ・ 5月28日付けの都の通知に基づき引き続き目的外利用を中止する。
- ・ 各中学校の部活についても、関東大会等に出場する一部の部活を除いて、引き続き取扱いを継続する。

(総務部長)

- ・ 緊急事態宣言の再延長に伴い、「新型コロナウイルス感染症の対応について」ということで、昨日Cナビのお知らせに掲載した。依然、感染者は減少傾向にないが、変異株による感染が多くみられ、N501Yについては、通常の1.32倍、インド株についてはさらに1.5倍の感染力があると言われている。本市においても時差出勤制度を活用して、最大限に抑制するとともに、時間外勤務についても原則20時までには終業するものとする。

### 3 ワクチン接種について

(コロナ担当課長)

- ・ 本市におけるワクチン接種の人数について、別紙の資料のとおりとなっている。これまでに公民館緑分館で6回、保健センターで6回集団接種を実施している。保健センターへのバスの利用人数は合計66人で、1日あたり11名平均の利用となっている。64歳以下の一般フェーズについて、今月中に接種券を発送予定である。

(コロナ担当副参事)

- ・ 6月17日(木)に一般フェーズの接種券の発送を予定。今回は8万1千人市民を対象としているため、封入封緘作業に対して全庁的な応援が必要。ちなみにファイザー社のワクチンは本日から12歳から15歳も接種の対象となっているが、本市においては16歳以上を対象とし、新しく16歳の誕生日を迎える市民については、随時更新をしていく。

(総務部長)

- ・ 職員の応援について。来週の土日の作業のため、早急に詳細を決めてほしい。

(コロナ担当副参事)

- ・ 各部の調整を見ながら実施場所も含めて調整する。学校の体育館を検討。

(職員課長)

- ・ 職員が新型コロナウイルスワクチンの接種を受けた場合、①ワクチン接種の時、②副反応が生じた時、職免を適用する。副反応が生じた場合については、職免を利用する前に所属長に必ず相談し、所属長は職員課長へ報告すること。なお、新型コロナウイルスワクチンの接種は、本人の任意によるものであり、強制ではない。よって言動については十分ご留意いただきたい。

(子ども家庭部長)

- ・ 65歳以上の職員の中には、既に接種をしているものもいるが、いつから適用となるか？

(職員課長)

- ・ 6月1日以降接種したものとする。

(市長)

- ・ 若い世代のほうが副反応が出やすく、特に2回目接種の後に出ると聞く。2回目の接種の後には、職員はできるだけ休ませ、このことを念頭に入れて職場の管理をしてほしい。

(自立生活支援課長)

- ・ 市内グループホームで感染者が発生した。

(教育長)

- ・ ワクチン担当の尽力により、他市に比べて接種が進んでいる。担当は身体に気を付けながら、取り組んでほしい。

以上